



令和6年度 学校だより

つなぐ

翠輝学園 つくば市立
みどりの南小学校
第54号
発行日 R7. 3. 25

君は愛されるために生まれた 「いのちの授業」生(性)教育講演会



2月21日(金)2校時、5年生において、龍ヶ崎済生会病院 産婦人科の陳 央仁 先生をお迎えして特別授業「いのちの授業『生命の誕生とその大切さ』～自分らしく生きる 君は愛されるために生まれた～」を実施しました。授業では、先生のこれまでの生い立ちから「生き方」について語っていただいたり、命の始まりとして排卵から出産までの生命の神秘について写真や動画を交えてお話いただいたりしました。産婦人科の医師として、これまでに5500名の赤ちゃんを取り上げてきた経験から語られる命の大切さや、ある母親が「この子だけは助けてください」と先生にお願いして生まれてきた子のエピソードには、感動した児童も多かったのではないのでしょうか。その母親が「子供が元気であるだけでうれしい」と語った言葉や、先生の「君たちは愛されるために生まれてきたんだよ」という熱いメッセージは、子供たちの心に届いたと思います。児童の感想には「助産師になりたい」という声もありました。

最後に、先生と一緒に、「生命の大切さ」とともに伝えたかったこと「どうすれば、自分らしく生きられるのか？」について考えました。児童の皆さんには、先生からのアドバイスをもとに、たった一人の自分(オンリーワン)を大切に、幸せに生きてほしいと思います。



講演後、すぐに診察へ戻られました

保護者の方もご参加(希望者)

令和6年度 学校教育に関するアンケート(保護者)自由記述より④

【ご意見・ご感想について】

◆タブレット端末の活用について①(家庭学習へのさらなる活用・持ち帰りを少し緩く)

タブレット端末は、授業はもちろん、家庭学習においても積極的に活用していくことが必要です。その際、大切なのは端末等の「ICTの活用した学び」と今までの「紙と鉛筆を使った学び」とのバランスだと考えています。最新の研究では、紙と鉛筆を使った手書きのよさは科学的に実証されています。各学年の発達段階も考慮しながら、活用の頻度については検討してまいります。ICT環境で実現する学習のメリット(他者との多様な考えの共有やその表現、情報活用、個への即時対応など)を活かしつつ、効率化だけを求めるのではなく、紙と鉛筆で書くことも大切にする事でバランスよく、学力の向上に努めていきたいと思っております。



◆タブレット端末の活用について②(文字や数字の認識の不具合での意欲低下・授業参観でのトラブル)

漢字・計算ドリルに付属した学習アプリを活用していますが、十分とは言えません。ひらがなや漢字の形、数字の「1」と「7」、「6」と「0」等の判定(認識)には、機械による厳しきや甘さがあります。特に低学年の子がやっと書字や端末操作になってくる夏休み頃までは、うまくいかないことが多いのが現状です。しかし、これによって子供たちが学ぶことを嫌になることがあってはいけません。そのため、前の項目にも関連しますが、今後も、状況に応じて、デジタルとアナログを使い分けて対応してまいります。

また、授業参観で端末がうまく動かずに学習が滞ることがあり、ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。原因はソフトの更新に伴うものでしたが、極力そのようなトラブルが起きないように対応してまいります。つくば市では、機器のメンテナンスを担当するICT支援員が他市町村よりも多く配置されており、教員が対応できないトラブルにもすぐに対応いただいております。今後も連携を図りながら、子供たちの学びを保障してまいります。

